

2013年  
保存版

# 東南海・南海地震 津波防災計画

# 津波防災安全マップ

発 みなと元町タウン協議会

行 諏訪山防災福祉コミュニティ・下山手防災福祉コミュニティ

## 津波注意報・津波警報とは

日本の沿岸で起こる大地震による津波予報は、地震発生後2～3分程度で、気象庁から、ラジオ、テレビ等を通じて津波予報が発表されます。

神戸市内は「兵庫県瀬戸内海沿岸」の予報区に含まれます。

津波予報は、全国を小さな予報区に分けて、それぞれの地域で予想される津波の高さを、津波注意報と津波警報、大津波警報に分けて発表します。

## 津波警報・注意報の分類と津波の高さ予想の区分

種類	発表される津波の高さ		想定される被害	取るべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m～)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人たちは、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m～10m)			
	5m (3m～5m)			
警報 津波	3m (1m～3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれる。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
注意報 津波	1m (0.2m～1m)	表記なし	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐに把握できないため、最初の津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」で発表し、非常事態であることを伝えます。



## 地震の揺れと被害想定

### 東南海・南海地震は必ず起こります！

西日本の太平洋沖を震源域とする東南海・南海地震は100～150年間隔で繰り返し発生しています。

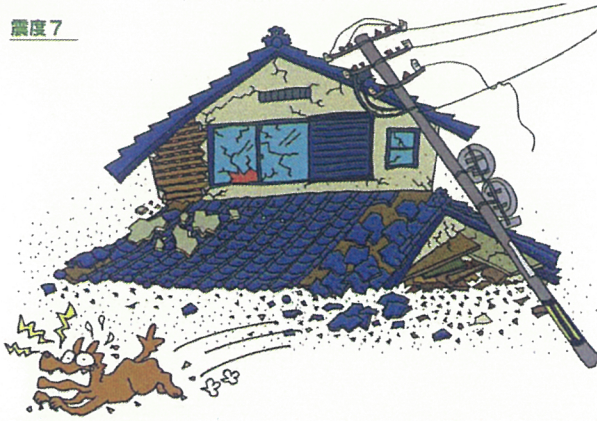
今後30年以内の地震発生率は **東南海地震で70～80%、南海地震で60%程度**とされています。

東南海・南海地震における神戸市中央区では最大震度6弱となり、ゆっくりとした大きな揺れが1～2分続くと予想されています。

### 7

- 自分の意思では行動できない。
- 大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。
- 耐震性の低い木造建物、鉄筋コンクリート建物では、傾くものや、倒れるものもある。

震度7



### 6強

- 立っていられず、はわないと動けない。
- 重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ。
- 耐震性の低い木造建物では傾くものや、倒れるものもある。

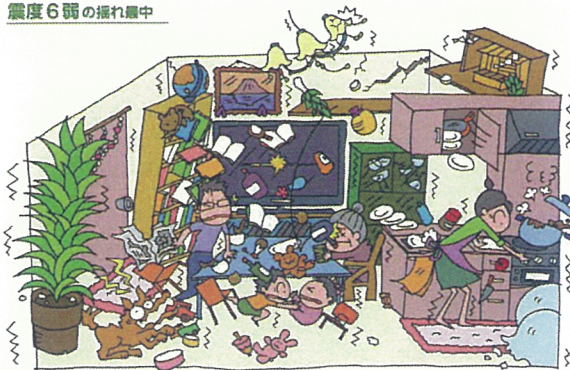
震度6強の揺れ劇中



### 6弱

- 立っていることが難しくなる。
- タイル壁や窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。
- 耐震性の低い木造建物では、瓦が落ちたり、建物が傾くものもある。

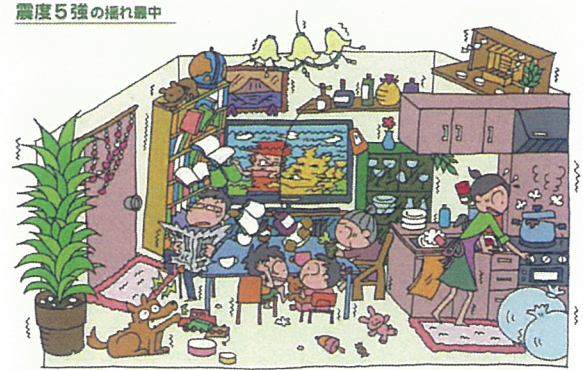
震度6弱の揺れ劇中



### 5強

- 多くの人が強い恐怖感を抱き、物につかまらなると歩行が困難。
- タンスなどの重い家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度5強の揺れ劇中



### 5弱

- 多くの人が身の安全を守ろうとする。
- 家具が移動したり、窓ガラスが割れることもある。



# 気象庁から発表される地震・津波情報の流れ

## 地震発生

- 大きな揺れを感じたら、テレビやラジオ、携帯電話で震度速報を確認し、各地の震度を確認しましょう。
  - ・ 大きな揺れが紀伊半島や四国の太平洋を中心に観測された場合は、東南海・南海地震の可能性が高く、津波の襲来の恐れがあります。
  - ・ 海岸、川辺にいる人はまず避難をし、沿岸地区の住民は「津波襲来」を念頭に行動しましょう。
- 津波の恐れのない場合は、避難を見合わせ、引き続き情報収集を行いましょう。

## 2分以内 震度速報

## 3～5分

- 津波予報
  - 津波警報(津波高1m程度以上)
  - 津波注意報(津波高0.2～1m程度)
- 津波の恐れなしの情報

- 兵庫県瀬戸内海沿岸(神戸市が含まれる津波予報区)に対する津波予報を確認しましょう。
  - ・ 津波警報の場合、陸上への浸水の恐れがあります。
  - ・ 津波注意報の場合、海水浴をしている人や海上作業者は陸上に避難してください。

## 5～6分

津波到達予想時刻  
予想される津波の高さの情報

- 避難地、避難にかける時間を判断しましょう。

各地の満潮時刻  
各地の津波到達予想時刻の情報

- 満潮時間前後は特に津波による浸水被害が拡大する恐れがあるため注意をしましょう。
- 地点ごとの津波到着予想時刻の情報を元に、津波到達時刻の予測をしましょう。

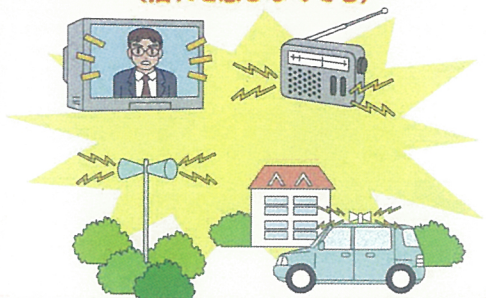
津波観測に関する情報

- 避難の解除は、津波警報解除後に地域の安全確認ができてから慎重に行いましょう。
  - ・ 各地の地形によっては、その高さを超える津波が来襲している可能性もあります。

## 伝達の手段 情報収集

- テレビ、ラジオ(電池式)
- ひょうご防災ネット
- 緊急速報メール(エリアメール等)
- 広報車(消防車等)
- 防災行政無線(スピーカー、戸別受信機)
- インターネット

## 津波警報・注意報が発表されたら… (揺れを感じなくても)





## ▶ もしもの安心

### 安全・安心情報の電子メールサービス(ひょうご防災ネット)

～登録・情報提供料は無料です～ ※電子メールの受信や、ホームページ閲覧の通信料は必要です。

神戸市では、風水害や地震による避難指示などの緊急情報を速やかに市民の皆様  
にメールでお知らせするサービスを実施しています。事前に携帯電話のメールアドレス  
を登録すると、神戸市や兵庫県から緊急情報のお知らせメールが届きます。

また、平常時から、携帯電話のホームページで安全・安心情報や防災関連情報を見  
ることもできます。

#### 緊急の情報

- 風水害時の避難勧告、避難指示情報など
- 地震情報(震度4以上)、津波警報・注意報、気象情報など

#### 平常の情報

- 神戸市の安全・安心情報、防災関連情報

### サービスの登録方法

URLより

<http://bosai.net/kobe/>

QRコードより



検索サイトより

ひょうご防災

検索



ひょうご防災ネットに関する  
問 合 せ 先

神戸市危機管理室  
☎ 078 - 322 - 6237

## ▶ NTT災害用伝言ダイヤル 171

地震など大災害発生時の電話がつながり難い状況の緩和を図るため、災害時に限定して  
ご利用可能な「災害用伝言ダイヤル(171)」です。ご利用にあたっての事前契約などは  
不要で、家族、知人間などの連絡に活用できます。

インターネットで伝言情報が登録・閲覧できるサービス「災害用伝言板(web171)  
<https://www.web171.jp/>」も利用できます。

#### 伝言ダイヤル 利用方法

ガイダンスが  
流れます

被災地の方はご自宅の電話番号を  
被災地以外の方は被災地の方の電話番号を  
市外局番からダイヤルしてください。  
(通話料が必要です)

録音方法

1

7

1

▶ 1

(XXX)000-XXXX

再生方法

1

7

1

▶ 2

(XXX)000-XXXX



# ▶ 家族みんなで防災についての話し合いをしましょう

災害はいつ襲ってくるかわかりません。  
 災害を最小限に食い止めるためには、日頃の備えが大切です。  
 いざという時、あわてずに、正しく行動できるように、  
 地震と津波からの避難方法について話し合いをしましょう！



## ① 家族一人ひとりの役割を考える

日常の防災の役割と災害が起きた時の役割を話し合っておきましょう。

## ② 家の危険箇所のチェック

家の内外をチェックして、危険箇所を確認しましょう。

## ③ 非常持ち出し品のチェックと入れ替え

日常の防災の役割と災害が起きた時の役割を話し合っておきましょう。

## ④ 災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離れ離れになった時の連絡方法や避難場所、避難経路を確認しましょう。

### ▶ 家族の防災メモ ◀

津波避難場所



津波緊急待避所



### 家族の連絡先

名前	連絡先(勤務先・学校など)	電話番号(携帯番号)	その他

### 親戚・友人の連絡先

名前	電話番号(携帯番号)	名前	電話番号(携帯番号)



# 地震が発生したら

地震発生

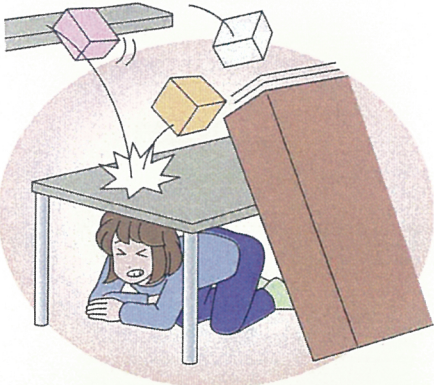
地震発生0分

情報収集

避難判断

## まずは身の安全を！

揺れを感じたら、丈夫なテーブルや机の下に身をかくし、身の安全を確保しましょう。風呂場、トイレ、押し入れなどは、比較的安全です。



## あわてずすばやく冷静な行動を！

火が消せる時はすばやく、余裕がない場合はまず身の安全を確保し、状況を見て火の始末を。ガス器具などは火を止め、電気器具はプラグを抜きます。

揺れにより出入り口が開かない時があるので、ドアなどを開けて逃げ道を確保します。また、急いで飛び出すと瓦などの落下物があり危険です。冷静な行動をとりましょう。



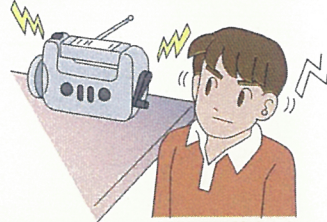
## 火が出たら、すばやい消火を！

万一出火しても天井に燃え移る前なら、初期消火は可能です。「火事だ！」と大声を出して隣近所に応援を求めるとともに消火に努めましょう。



## 津波注意報・警報等の正しい情報をキャッチする！

災害時には、うわさやデマに振り回されることがあります。ラジオやテレビの報道に十分注意し、正しい情報をキャッチしましょう。



## 荷物は少なく避難は徒歩で！

避難時には、荷物はできる限り少なくしてリュックで背おいます。また、避難所へは、広くて安全な道を選んでみんなと一緒に歩いて行きましょう。



とにかく避難

- 兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報発表
- 神戸市等から避難勧告等が発令

情報収集避難

- 津波注意報発表
- 強いゆれ(震度4以上)あるいは弱くてもゆっくりとした大きなゆれを感じる

とりあえず津波からの避難は不要

- 津波の恐れなしの発表
- 海面変動あるかもしれないが津波の心配なしの発表



徒歩で！

地震発生  
90分

概ね山手幹線より山側に避難可能か？

地震発生後90分以内に

YES

NO

津波緊急待避所3階以上に避難

山手幹線より山側に避難！

正しい情報を得よう

- 津波警報・注意報解除はされたか？
- 避難勧告解除はされたか？
- 津波被害の恐れはないか？
- 自宅・地域の安全が確認されたか？

YES

NO

安全が確認された避難所に避難

避難の解除



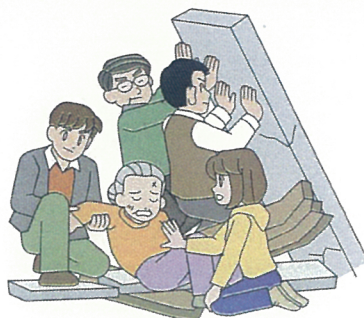
海岸・川辺には  
近づかない！

強い地震や長時間の揺れを感じたら海岸・川べりからすぐに離れ、高い場所に避難しましょう。



がけ崩れ等に、要注意！

もろい地盤のがけや山は、地震により崩れることが考えられます。周りの状況に注意し、日ごろと違う異常を感じたらすばやく避難しましょう。



皆で協力し、応急救護を！

隣近所お互いに声をかけあい、安否の確認をしましょう。お年寄りや身の不自由な人は手助けを、ケガ人がいる時には、協力して応急手当をしましょう。



# ▶ 非常時準備品の確認をしましょう

災害避難時に持ち出す物を、下記チェックリストを参考に家族で話し合しましょう。

準備品の重さの目安



男性で15kg  
女性で10kg



## ▶ 非常時準備品チェックリスト ◀

貴重品		情報・照明	
現金(公衆電話用に10円硬貨も)		携帯ラジオ	
預貯金通帳		懐中電灯(できれば1人に1つ)	
カード類		予備の乾電池(多めに)	
印鑑		携帯電話(バッテリー式充電器も)	
免許証		生活用品	
権利証書		ヘルメット・防災ずきん	
健康保険証		マスク・ゴーグル	
貴金属類		軍手・ゴム手袋(厚手のものがよい)	
鍵(自宅・車等)		雨具(傘・レインコート)	
住所録のコピー		ホイッスル(居場所や危険を知らせる)	
		上着類(防寒用)	
		下着(着替え用)	
		タオル・ハンカチ	
		ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	
		ライター・マッチ	
		ナイフ	
		ビニール袋	
		【女性・幼児・お年寄り用に】	
		生理用品	
		紙おむつ	
		【目・耳の不自由な方は】	
		眼鏡・コンタクトレンズ(洗浄・保存液も)	
		補聴器	
応急医薬品			
※薬品は温度や湿度の高いところでは、変質する場合がありますので、保管場所に注意しましょう。			
絆創膏		風邪薬・胃腸薬	
ガーゼ・包帯・三角巾		鎮痛剤・解熱剤	
はさみ・ピンセット・刺し抜き		目薬	
消毒薬・脱脂綿		【持病のある方は】	
傷薬		常備薬	